



絆プロジェクト

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

環境

ICT

体力向上

国際理解

キャリア

平成28年12月13日発行
No 16 文責 小室

キャリア

人も命 ごぼうも命 土も命 ～フコから学ぶ～



今年度も帯広市内でごぼうを作られている和田さんをお迎えして、5年生がその高いプロ意識からたくさんのごぼうを学ばせていただきました。

和田さんのごぼうは、一流のごぼうです。食の安全が第一に考えられている学校給食の食材に20年前からずっと選ばれていること、洞爺湖サミット（2008年）で各国の首脳に振る舞われた料理の食材に選ばれていることが証明しています。和田さんのごぼうがなぜ選ばれる

のか…。和田さんのお話の中にたくさんのお話を聞きました。

「ごぼうは、土の栄養をすべて吸収してできるもの。だから畑の土はとても大事。カニやエビの殻、コンブや米ぬかなど、海の物・山の物を土に混ぜ、柔らかさや水はけなども考えたバランスの良い土でごぼうを作っている。ごぼうは土の命をいただきながら育っている。おいしいごぼうはいい土から。」

「ごぼうは体の基礎をつくる食べ物。小さいときから、いいものを食べてほしい。」

「ごぼうを作ることを選んだのは自分の性格に合っているから。日本で一番おいしいごぼうを作りたいと思っている。」

未来のことや環境にも目を向けながら、信念をもって仕事をされている和田さんのお話を聞いて、子どもたちは農業という仕事のことでなく、どういう思いをもって物事に向き合うのかということまで感じ取ることができました。「こんなに近くに一流の人がいる!!」「十勝ってすごい!!」と、目を輝かせていた子どもたちでした。

私は、土がとても大切であることを改めて知ることができました。700t出荷していることやゴボウ掘りで5～6kgも体重が減ると聞いて、「農業の方はとても大変だな」と思いました。給食のゴボウとして20年使われていることや、安倍総理のお母さんが食べていること、G7の食事で使われたこと、セブンイレブンのおでんに使われていることを聞き、おどろきました。和田さんのお話を聞いて、前向きに確実に進むことや、目標をもって最後まであきらめずに努力する大切さを学びました。
【1組 児童】

和田さんが話してくれたことの中で、すごく心に響いたことが二つあります。一つ目は、全部に命があって、ここにある。命の大切さがすごく伝わりました。二つ目は、和田さんがゴボウを作り始めた理由です。前向きな理由が心にひびきました。そして、目標をもってゴボウをつくっていることがわかりました。私は命の大切さを知って、ちゃんと味わっていっしょうけんめい食べることが大事だとわかりました。

【2組 児童】

「消費者においしいものを届けようと研究している」というのは、嬉しく思いました。この貴重な経験を生かし、何事でも向上心をもって努力し、つらいことがあっても簡単に投げ出したりしない、常に一生懸命な自分でありたいと思いました。和田さんが一番重要だとおっしゃった、「命をいただくことに感謝する」という言葉をしっかりと心に刻みたいと思いました。

【3組 児童】